

飛躍

森町立旭が丘中学校 第3学年
学年通信 第24号
2020年10月12日(月)
文責 太田 雄司

9日(金)に2学期中間テストのテスト成績カードを生徒に渡しました。今回は、出題者からのコメントと得点分布グラフを掲載します。11月19日(木)の2学期期末テスト、そして12月1日(火)の第2回学力診断調査に向けて各自の課題を明確にし、実践して欲しいと思います。よろしくお願いいたします。



☆2学期中間テストを振り返って

	【テストの傾向とアドバイス】
国語	授業で学んだ範囲の問題は良くできていました。基礎の学習や学習診断プリントに似た問題も混ざっていたので、解きやすかったかと思います。しかし、抜き出し問題のミスが目立ったので答え方を確認する習慣を身に付けていきましょう。漢字の出題では読み問題の正答率が低かったです。テスト範囲をきちんと把握し、間違えた問題を何度も書くことで確実に読める・書けるようにしましょう。 実力問題では、古典を出題しました。歴史的仮名づかいを「ひらがな」で直す問題で、問題文の見落としが多くありました。どのように解答しなければいけないのかを把握してから解答しましょう。また、作文問題は提示された発言に対して、自分の考えを書くという内容でした。誤字脱字と主述のねじれが目立ったので、日頃から文章を書くトレーニングをしていきましょう。
社会	公民に比べると、歴史の定着に課題が残りました。1ヶ月たつと忘れていく…といういつものパターンです。ずばり復習不足、繰り返しの不足です。定期テストに比べると、入試への対策は、本当に大変です。自習室の歴史分野に取り組む際には、B問題までテスト形式で行い、定着していない範囲については、教科書に戻って身に付くまで復習しておきましょう。また、前回同様、記述問題や並べ替え問題には課題が見られました。歴史は「〇〇だから××が起きた」といった前後のつながりを意識していきましょう。公民は、予習・復習の学習習慣を継続するとともに、授業の中での問題解決の場面に積極的に関わることや、毎時間の振り返りを丁寧に記述していくことを大切にしましょう。
数学	範囲が広く、問題数も多いテストでしたが、計算問題や関数の基本の問題の勉強が事前にしっかりとできていた生徒は、最後の問題まで取り組むことができたと思います。今回は、公立高校入試想定問題を5題(6①、6②、6③、7⑤、7⑥)出題しました。そのうち、7⑥の正答率が低かったです(約3割)。根号を含む式の展開が苦手な生徒が多いと推察されます。確実に計算できる力を身に付けましょう。 期末テストの主な範囲は、関数の利用と相似な図形です。たとえば、2乗に比例する関数と1次関数などのように、複数の関数が関連した問題は、入試にもしばしば出題されます。既習の関数の知識を組み合わせることで問題解決できるようにするためにも、まずは、既習の関数の基礎・基本をしっかりと復習しておきましょう。図形の内容については、授業で学習した定理、証明の手順などを押さえておくといえます。
理科	今回は生物分野・地学分野からの出題でした。生物は基礎的な用語、遺伝のしくみの基礎理解を確認する内容としました。良くできている生徒も多かったと思います。それに対して、物理分野では、物体の運動や速さの計算を主軸に、力の作図までの範囲を出題しました。授業での考察を生かし、物体の運動を、力を使って説明することができる生徒も多くいました。その反面、知識はある。用語は知っている。でも、見たことのない問題はできない。といった生徒もいたと思います。受検でも、授業でやったことのない、違った設定で問題が出題されることが多いです。今までの、既習事項から、どの方法を使えばよいのか判断して解く。こういった力を磨いていきたいですね。授業でも、発展的な問題を行いますので、ぜひチャレンジして、話し合っ、応用力をつけていこう。
英語	授業でやったことはよくできていました。また、英語の質問に英文で答える問題ができるようになっていました。これからも、代名詞に気を付けながら丁寧に回答しましょう。教科書の本文から出題した問題については、覚えていると

いうこともあり比較的できていました。課題としては、「問題文をよく読むこと」が挙げられます。「記号で書きなさい。」「抜き出して書きなさい。」「○語以上の英文で書きなさい。」等の問題での回答ミスが未だにありません。また「どのようなことか」と問われたら「～こと」と書き終えるなど、文末の書き方にも気を付けなければなりません。問題文をよく読み、正しい答え方を心掛けましょう。
